

経営指導員が発見! キラ★星企業

No.76

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



今までの歩み

新在家にあるジャンボ包丁の看板が目立つ「菊重」は、家庭用包丁や職人用包丁、ペティナイフ、鎌、ハサミなどを取り扱う姫路の刃物専門店である。全国的に見ても刃物専門店は数少ない。同社は、品質が良いだけでなく、品揃えも多いことから“刃物の博物館”として親しまれており、販売のほか、研ぎ、修理などのメンテナンスサービスも提供している。代表の吉川氏は実家が「ヨシカワ株式会社」と「マルイチ株式会社」(旧: 吉川金物)を営んでおり、幼い頃から刃物に魅了されていた。三兄弟で実家を手伝っていたが、長男の大阪での創業をきっかけに「自分も独立したい!」と思い、1961年、広畑で「吉川刃物」を創業。1963年、広畑から新在家へと移転し、社名を「菊重」へと改名した。同社で取り扱う刃物はすべて代表の吉川氏が吟味して良いと思うものだけを販売しているため、品質の良さには定評がある。一般的な金物店やホームセンターでは取扱いが少ない和包丁や、錆びにくい本焼き包丁などを豊富に揃えており、高価なものでは100万円ほどの包丁も販売している。中でも、“日本一の絶品”と称賛されている職人用包丁「堺 一文字 吉光」は、刃物業界で有名な職人が製作した最高級ブランドであり、日本でも本品を取り扱うことができる店舗はごく僅かだそう。また、同職人が同社のためだけに製作したオリジナル商品も取り揃えているなど、本格包丁を購入することが可能だ。同社の品揃えの多さ、品質の良さには本当に驚かされる。

どんな刃物でも完璧にメンテナンス

刃物は切れ味が命である。吉川氏は創業してから長年にわたり、仕入れのため、刃物の三大産地のひとつである堺市によく足を運んでいた。その際、興味のあることは何でも追究するという吉川氏は、伝統的工芸品の堺打刃物が実際に製作される過程を見ながらその技術を学び取り、刃物の砥ぎ方を習得していった。長年に

職人氣質が、神技の秘訣。
錆びて使えなくなった刃物にもう一度“命”を吹き込みます。

菊重 代表 吉川 壮治

わたり研究を重ねた結果、現在では刃物であればどんなものでも砥ぐことができ、砥ぎ終わりをみたお客様からは「すごい! まるで新品!」と大好評だ。柄がボロボロで刃が錆びた包丁でも、吉川氏の手にかかれば新品のように復活するのだ。

昭和40年、紛失キー製作、ユニキス日本株式会社の開錠・分解等特殊技術第一号に認定

吉川氏の職人氣質は刃物だけにはとどまらない。吉川氏は、紛失キー製作、開錠・分解等特殊技術の先駆者であり、どんなに難しい鍵でも鍵穴をのぞいて合鍵を作ってしまう。昔、旅先で車の鍵を紛失してしまい、そこで初めて鍵の必要性を実感したことがきっかけで鍵作りを始めたという。研究に研究を重ね、誰にも真似できない技術を習得したのだ。中途半端なことが嫌いで、やるからには徹底して追究する吉川氏だからこそできた職人技だと言えるだろう。鍵を壊さずに開錠したい方、無くした鍵を製作したい方は是非頼ってみてはいかがでしょうか。

今後の展望

吉川氏は「地元のためにも姫路で長く続けていきたいです。また、息子にも刃物砥ぎの技術や鍵の製作技術を承継していますが、この先もずっとこれらの技術を承継して欲しいと思います。」と語った。



DATA

事業内容: 刃物専門店、合鍵製造
所在地: 〒670-0095 姫路市新在家1-2-5
電話: 0120-846-901
HP: <https://kikuknifejapanblog.wordpress.com/>